

令和6年度宮城県児童生徒学習意識等調査における亙理町内小・中学校の概況について(お知らせ)

日頃から本町の教育推進に対して御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、標記の件について、下記のとおりお知らせいたします。本調査は、宮城県の児童生徒の学習や生活に係る取組や意識等を調査することにより、児童生徒の心のケアと学力向上に生かすことを目的に宮城県教育委員会によって実施されております。小学5年生と中学2年生の特定の学年の状況ですが、町内児童生徒の学習及び生活の様子について把握ができる内容であると考えております。

町教育委員会としては、本調査の結果を踏まえ、引き続き、学校と連携しながら指導の改善・充実を図っていきたくと考えております。保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

記

- 1 調査実施日 令和6年6月24日～6月28日までの学校任意決定日
- 2 調査対象学年 町内の小学校5年生の全児童(257名)と中学2年生の全生徒(246名)【令和6年6月1日現在の人数】
- 3 調査結果の内容

○ 児童生徒の生活習慣・学習習慣等に関する質問紙結果

4 本町の小・中学校における調査結果の概況

(1) 各質問ごとの結果 (※意識等調査を①～⑤の5つの質問項目に分類・整理)

※ 表の数値は、肯定的な回答(当てはまると回答)の割合

質問項目	質問番号	質問事項(児童生徒質問紙)	小学校5年生			中学校2年生		
			宮城県(%)	亙理町(%)	県比較	宮城県(%)	亙理町(%)	県比較
①子供の学びを支援する5つの提言	3	3 先生はあなたの話を聞いてくれますか	94.7	94.2	-0.5	94.2	95.4	1.3
	8	8 先生から声を掛けられたり、励まされたりしていますか	87.5	86.2	-1.4	88.2	86.3	-1.9
	11	11 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	89.8	88.5	-1.3	90.4	87.7	-2.8
	12	12 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか	86.6	84.2	-2.4	84.3	83.6	-0.7
	13	13 これまでに受けた授業で、タブレットなどのICT機器を、どの程度使いましたか(週3回以上)	71.6	70.0	-1.6	78.0	92.7	14.7
	14	14 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていますか	90.1	90.4	0.3	87.3	83.1	-4.2
	15	15 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	84.2	85.8	1.5	78.8	74.0	-4.9
	19	19 授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていますか	86.0	87.3	1.3	86.2	84.9	-1.2
	23	23 平日に1日当たりどのくらいの時間、スマートフォンやコンピューターなどのICT機器を勉強のために使っていますか(2～3時間以上)	15.3	13.1	-2.2	21.6	29.7	8.1
	17	17 学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか	86.5	87.3	0.8	89.8	92.2	2.4
	18	18 授業では、自分たちで課題を見つけて、解決するために情報を集め、話し合ったり、発表したりする学習に取り組んでいますか	82.4	81.9	-0.4	85.7	82.6	-3.1
	16	16 自分で計画を立てて、家で勉強をしていますか	68.9	70.4	1.4	57.5	54.3	-3.2
	20	20 学校の授業時間以外に、平日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師、インターネットを活用しての学習時間を含む)(1時間以上)	42.2	52.3	10.1	52.7	43.8	-8.9
	21	21 学校の授業時間以外に、平日に、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)(30分～1時間以上)	30.9	36.2	5.3	25.7	27.4	1.7
22	22 休日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭起用し、インターネットを活用しての学習時間を含む)(2時間以上)	17.6	18.1	0.5	28.1	21.9	-6.2	
②震災関連	24	24 災害(地震・津波)のことが思い浮かび、家庭学習がやりにくいことがありますか	24.3	21.6	-2.7	5.6	4.1	-1.5
	25	25 災害(地震・津波)のことが思い浮かび、授業に集中できないことがありますか	19.0	17.3	-1.7	2.3	3.9	1.6
	26	26 災害(地震・津波)のことが思い浮かび、気持ちが落ち着かなくなることがありますか	27.4	23.1	-4.3	7.5	3.2	-4.3
③学校生活について	1	1 学校に行くのは楽しいと思いますか	87.7	88.1	0.4	87.5	91.3	3.8
	2	2 学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがありますか	93.0	89.6	-3.3	93.2	93.6	0.4
	4	4 何かあったとき相談できる人(家族・友達・先生・周囲の大人等)がいますか	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0
	5	5 いじめられている人がいたら、周りの大人に相談することができますか	86.9	88.5	1.6	85.3	86.3	1.0
	29	29 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.6	95.8	0.2	94.6	92.7	-1.9
④基本的な生活習慣	27	27 朝食を毎日食べていますか	94.6	92.3	-2.3	92.0	91.3	-0.6
	28	28 平日にスマートフォン等を勉強以外で使う時間はどのくらいですか(2～3時間以上)	35.0	30.4	-4.6	56.7	67.6	10.9
⑤自尊意識・規範意識	6	6 将来の夢や目標を持っていますか	88.9	91.9	3.0	71.0	67.1	-3.9
	7	7 自分には、良いところがあると思いますか	77.8	77.7	-0.1	75.7	73.5	-2.2
	9	9 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	90.7	88.5	-2.3	89.1	86.3	-2.8
	10	10 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	83.2	82.3	-0.9	73.1	64.8	-8.3
	30	30 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.2	95.4	0.2	95.7	95.9	0.1
	31	31 今住んでいる地域の行事に参加していますか	66.6	66.5	-0.1	52.6	46.6	-6.1
32	32 ボランティア活動(校内での活動も含む)に参加していますか	51.0	46.5	-4.4	44.1	40.2	-3.9	

5.0 : 県平均を5ポイント以上、上回っている良好な項目

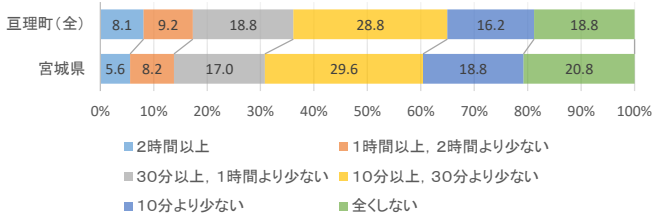
-5.0 : 県平均とのかい離が大きい課題となる項目

(2)主な質問項目(①提言5:家庭学習、④生活習慣)に関する宮城県と亶理町の調査結果のグラフ

小学5年生

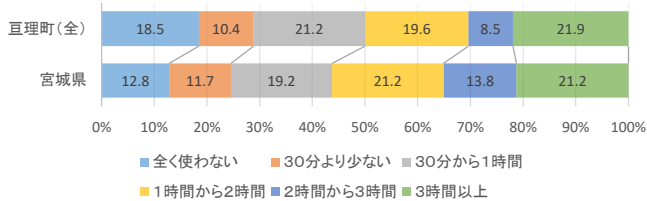
21 提言5(読書)

学校の授業以外、平日に、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)

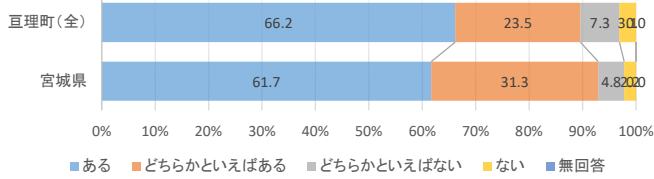


28 生活習慣(スマホ時間)

平日に、スマートフォン等を勉強時間以外で使う時間はどのくらいですか(親や兄弟姉妹のものを使う場合も含む)



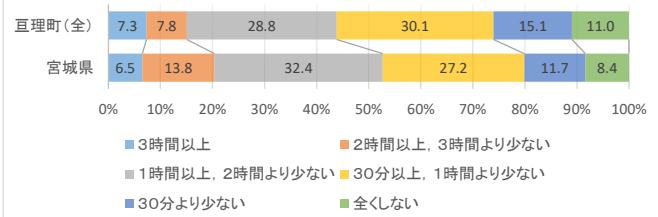
2 学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがありますか。



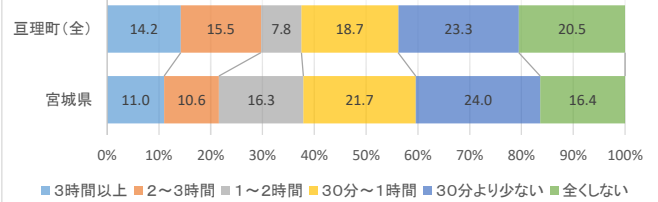
中学2年生

20 提言5(学習時間)

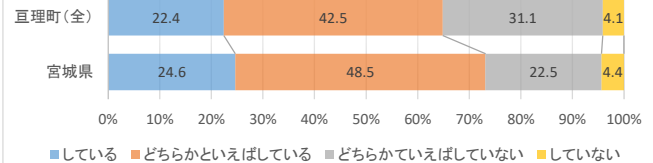
学校の授業時間以外に、平日に、日あたりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾や家庭教師を含む)



23 平日に1日当たりどのくらいの時間、スマートフォンやコンピューター機器を勉強のために使っていますか。



10 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。



5 調査結果を踏まえた主な現状と今後に向けて

①「子供の学びを支援する5つの提言」に関連する項目について

- ・昨年度は、小5の「先生はあなたの話を聞いてくれますか」と「先生は良いところを認めてくれますか」という質問で県平均を大きく下回りましたが、今年度は少しずつ向上してきました。それでもまだ県と比較するとマイナスなので、児童生徒が話をしやすい雰囲気づくりに努め、やる気を引き出す取組と声掛けを継続して行いきます。
- ・「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか」の質問で小5も中2も県平均と比べて下回りました。また、中2では、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」の質問で県平均を下回っています。授業や様々な活動を通して児童生徒が進んで学習に取り組むような環境を設定し、自ら考えたことを発表したり、話し合ったりする学習体験をより多く積むことで、主体的に学ぶ楽しさを味わえるような授業づくりに励みます。
- ・家庭学習については、小5では「平日1日にどのくらいの時間、勉強をしますか」との質問に、大幅に県平均を上回りました。また、「学校の授業時間以外に、平日に、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」の質問にも県平均を上回っています。最近では、勉強時間だけでなく、読書時間が学力に大きく影響すると言われていいますので、大変よい習慣付けができています。各校でそれぞれ工夫を凝らして、校内の図書館の冊数や内容の充実や本に触れる楽しさを感じることができるようイベントなどを設定しています。そのような取組が根付いてきたのだと思われます。一方で、中2は「平日1日にどのくらいの時間、勉強をしますか」の質問で、県平均に比べかなり下がっています。小学校の勉強時間や読書時間の習慣が、部活動やSNSなどに関する興味が大きくなるなどの理由で崩れてしまうのかもしれない。今後も見極めていく必要があります。

③・⑤「学校生活について」「自尊意識・規範意識」に関連する項目について

- ・小5では、「学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことはありますか」の質問で県平均より若干低いです。また、中2では、「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」の質問が低かったです。小学校の学校生活において、充実感や自己肯定感が高くなる体験が少ないと、中学校においても困難に負けず何かに挑戦しようという気持ちはなかなか湧きません。特に小学校において、学級の中で担任の先生と友達と過ごす時間をもっと充実させ、一つの目標に向かって一致団結する体験を増やすよう考えていきます。

④「基本的な生活習慣」に関連する項目について

- ・小5では、「平日にスマートフォン等を勉強以外で使う時間はどのくらいですか。」という質問で若干県平均を上回っています。中2になると「平日に1日当たりどのくらいの時間、スマートフォンやコンピューターなどのICT機器を勉強のために使っていますか」との質問でも、県平均に比べれば使っている時間は大幅に長いです。休日はもちろんですが、平日に小・中学生がスマホを利用する時間が増えれば、目の疲れ・視力低下・首や肩の疲れなどがその後の成長に影響を与えます。さらには夜更かしになり朝起きられず生活習慣を悪化させてしまうことが考えられます。不登校の始まりにも、生活習慣の乱れが大きな要因となっている場合があります。学校と家庭で連絡を取り合いながら対応していきます。

6 保護者の皆様へ

○ 学習時間の確保について

- ・短い時間でも「必ず机に向かう」習慣を身に付けられるよう、お子さんにお声掛けください。

(例)小1・2(20分)、小3(30分)、小4(40分)、小5(50分)、小6(60分)、中1・2(1~2時間)、中3(3時間以上)【参考:わたりん学びのすすめ】

○ 学習環境の整備について

- ・家庭での勉強は内容も大切ですが、習慣付けの意味で重要です。お子さんが、落ち着いて学習できるように、各家庭で工夫したり、話し合ったりしてください。

- ・家庭での携帯やスマホの使い方は、お子さんの生活と健康に大きな影響を与えます。再度お子さんと一緒にルールを決めてください。

(例)小1~小3(夜8時から朝7時まで)、小4~中3(夜9時から朝8時まで)携帯を家の人に預ける。【参考:亶理町ケイタイ・スマホの約束】

○ 見届け・励ましについて

- ・話を聞いてあげたり、褒めたり励ましたりすることで、お子さんはどんどんやる気を出します。お子さんとの会話を更に増やし、学校の話や友達の話に耳を傾けてあげてください。その中にいじめや不登校につながるサインがありましたら、些細なことでもぜひ学校と共有し、一緒に考えていきましょう。